

「地域森林計画の作成と変更」の概要(やさしい版)

地域森林計画とは、大切な森林を元気な状態にするために、どのように森林を育て、守っていくかを書いた計画です。

今回は、3つの地域(胆振東部、宗谷、網走東部)の計画を新しく作ります。また、その他の10地域の計画を変更します。

どうして森林は大切な?

森林には、次のようなはたらきがあって、みんなの暮らしに役立っています。

- ・きれいな水を保つ(水源涵養)
- ・土砂崩れを防ぐ(山地災害防止/土壌保全)
- ・心地よい環境を作る(快適環境形成)
- ・生き物のすみかになる(生物多様性保全)
- ・二酸化炭素を吸う(地球環境保全)



きれいな水を保つ

北海道にはどのくらい森林があるの?

北海道には、約554万haの森林があります。これは北海道全体の面積の7割に当たります。

人が植えた森林で多いのは、トドマツやカラマツという木です。また、自然にできた森林には、ミズナラやエゾマツなどいろいろな木が生育しています。

地域森林計画にはどんなことが書いてあるの？

地域森林計画には、次のようなことが書いてあります。

・大きくなった木を切って、その後に苗木を植えます。

・苗木に日光が当たるように周りの草を刈ります。

・植えて 20 年くらいたつたら、間伐(※)をします。

※木が混みすぎないように一部の木(3本に1本くらい)を切って、木と木の間をあけること。

・木を運ぶトラックが通るための道を作ります。

・病気になった木を取り除きます。



木を切っちゃうの？



苗木を植える人

人が植えた森林は、木がひょろひょろにならないように、間伐が必要だよ。

それと、古い木が多くなると森林の元気がなくなってくるから、一度伐採して、その後に新しい苗木を植えることも必要なんだ！



地域森林計画について、あなたが思ったことや、考えたことを教えてください。次の QR コードから、あなたの意見を出すことができます。

<https://www.harp.lg.jp/kPTads0V>

